

あいちの印刷

7

2025.7

No.644



射水(いみず)神社 (富山県高岡市古城)

もくじ

- 巻頭言「音をカタチにする ― バンド活動が教えてくれる “伝える力”」 3
- 愛印工組・通常総会 創立70周年記念講演会・祝賀会
愛印工組新年互礼会に併催し開催 4
- 愛知県印刷工業組合・令和7年度事業計画 創立70周年記念テーマ
「RESILIENCE(レジリエンス) ～共に歩み、未来を拓く～」 6
- 愛印協組・通常総会 メディアージュ愛知を情報発信基地に ... 8
- 全印工連 第50期ワンスター認定募集中 9
- 愛知労働局からのお知らせ
熱中症を防ごう STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン 10
- 夏休みに高校生などを雇用する場合 アルバイトの労働条件 ... 12
- PICKUP NEWS 13
 - 日印機工・プリデジ協 IGAS2027開催 13
 - 下請け法の改正で名称変更
 - 下請事業者⇒中小受託事業者、親事業者⇒委託事業者 ... 13
 - 中小企業庁 パートナリシップ構築宣言 13
- モトヤ SUMMER FAIR 2025 IN NAGOYA 14
- 熱中症対策:企業へのアンケート 熱中症対策の義務化 14
- 生誕200年、没後150年「本木昌造顕彰会記念事業」の募金 14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM

「減らす」がつくる、クオリティ

SUPERIA

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

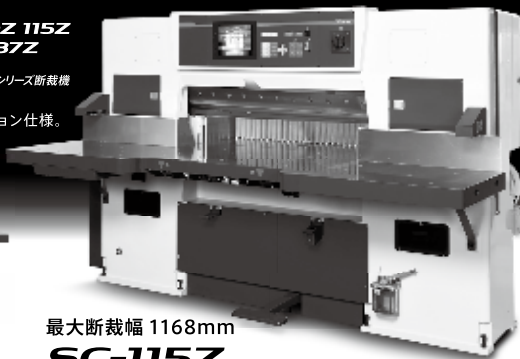
SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

Safety
Speedy
Smart

ITOTEC

CIP4
CIP4に対応
(オプション)

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp

本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台



巻頭言

「音をカタチにする — バンド活動が教えてくれる“伝える力”」

労務・新人教育委員長 山本 芳弘

趣味でバンド活動をしています。音楽という目に見えない表現を、仲間とともに創り上げ、それが聴く人の心に届く瞬間は、何よりの喜びです。

最初は、一人のメンバーが持ち寄った断片的なアイデア。それがスタジオリハや議論を通じて、次第に“曲”というひとつのカタチに育っていきます。メロディにドラムとベースがリズムと厚みを与え、ギターやキーボードが彩りを加え、最後にボーカルが物語を歌い上げる。それはまさに、「企画・構成・デザイン・制作」のプロセスそのもので、この過程は印刷物づくりにもよく似ています。

たとえば、ライブ告知のフライヤーを制作する場合。まずは「何を、誰に、どう伝えるか」を考えることから始まり、バンドの個性を活かすビジュアルコンセプトを設計。レイアウトを組み、色やフォントを選びながらデザインを構築します。そして完成したデータは印刷され、紙という物理的なカタチへと姿を変えます。それはまるで、音がCDや配信として届けられる過程とよく似ています。

印刷物もまた、音楽と同じように「思いを誰かに届ける」ための表現手段です。バンド活動を通じて育まれた感性や、仲間との協創によるものづくりの喜びは、印刷やデザインの現場でも大いに活かされます。むしろ、そうした活動のなかで自然と培われる「伝える力」や「魅せる技術」こそ、現代におけるクリエイティブな力なのかもしれません。

先日、若いミュージシャンからジャケット制作の依頼を受けました。必要なものは配信用のQRコードと管理番号のみで、イラスト・フォント・色彩にとことんこだわり、印刷方法や用紙の厚みにまで気を配って仕上げた一枚一枚。そこには、音づくりと同じ熱量が込められていました。そのジャケットはマルシェイベントで手売りされるとのこと。まさに我々世代が親しんだ「ジャケ買い」の風景が、今再び蘇っています。音楽が配信中心の時代になった今でも、「紙の魅力」が輝く瞬間が存在しました。

この秋に開催される第2回ワクワクぷりんと博覧会でも、「紙の魅力」を存分に発信していきましょう。このイベントは、印刷や紙加工の面白さ、美しさ、そして奥深さを五感で体験できる場として、前回も大いに盛り上がりしました。今回もクリエイターや印刷会社、紙好きが集い、それぞれの視点で「紙っておもしろい！」を共有します。展示やワークショップ、物販などを通じて、音楽やアート、デザインといった異分野とのコラボレーションも広がることでしょう。

紙が持つ質感や存在感は、デジタルにはない“体験”そのもの。自分の手で紙を選び、加工し、誰かに届けます。この博覧会を通して、印刷会社とクリエイターが協創する新しい表現の場が生まれることを、心から楽しみにしています。



お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプル印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノーラ ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624



共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



■愛印工組・通常総会



創立70周年記念講演会・祝賀会 愛印工組新年互礼会に併催し開催

愛知県印刷工業組合（酒井良輔理事長、愛印工組）の令和7年度通常総会が、5月21日名古屋・伏見の名古屋観光ホテルにおいて開催された。総会は、前半の部において令和6年度事業報告及び決算関係書類承認の件、令和7年度事業計画案及び予算案承認の件などが上程され、審議の結果全ての議案が承認された。また、後半の部では、令和7年度事業計画の三役直轄事業及び各委員会事業内容が詳細に説明された。組合創立70周年記念行事は、1月14日に開催される愛印工組新年互礼会に併催し開催することが報告された。出席者は委任状含め121名。



名古屋観光ホテルで開催された令和7年度通常総会
※安定した組合にしていく、と挨拶する酒井愛印工組理事長

「第2回ワクワクぷりんと博覧会」10月18・19の両日

■令和7年度事業計画承認

総会は、竹倉幹雄副理事長が司会を務め、田中賢二副理事長の開会の辞に続き、酒井理事長が挨拶を行なった。

「昨年、理事長を拝命してから1年はあっという間であった。初めての挨拶では、皆さんにどのようにいろいろなことを伝えていくか、一生懸命話をした記憶がある。この1年間、様々な事業を行ってきた。特に、15年にわたり継続してきた『ポスターグランプリ』や『ワクワクぷりんと博覧会』など、二つの大きな事業を行なった。ポスターグランプリは様々な要因から15回の開催で最後を締めくくったが、いろいろなご意見をいただいた。当初、ポスターグランプリは愛印工組単独の事業としてスタートしたが、中部地区協の各県工組も仲間に入り中部5県で開催してきた。しかしながら、組合員のために行なってきた事業であったが、昨今の経費上昇などもあり多大な経費が掛かるようになった。こうした要因から、このあたりで一段落してもいいのではないかと、との思いで一旦打ち切ることにした。ワクワクぷりんと博覧会については、第2回を10月18、19の2日間、名古屋市千種区にある星が丘テラスで開催する。

ご承知のように我々の組合は、共済制度とアドビ特別ライ

センスプログラム、そして様々な事業をすることによって収益を安定化させている。これからも皆さんと共に、しっかりと安定した事業ができる組合にして行きたい」。

続いて、議長に松岡祐司氏（㈱アサプリホールディングス）を選任し、総会設立の確認ののち議案審議に入った。「令和6年度事業報告及び決算関係書類承認の件」、「令和7年度事業計画案及び収支予算承認の件」など4議案が上程され、いずれも原案通り可決承認された。令和7年度事業計画では酒井理事長が基本方針を述べた。（基本方針は別項参照）

■組合員の力を結集し価値を協創

来賓を迎えて行なわれた総会後半では、酒井理事長が再度挨拶に立ち、「改めて皆さんに、これから我々はどのような方向に向かって進んでいくのか、若干お話をしたい」と前置きし次のように述べた。

「今、世界を見てみると、各国での紛争が長いこと続いており、一向に解決の気配を見せないままである。また、米国の関税に関する新たな問題も起きている。何よりも、物価が高騰しインフレが続いている。こんな中、日本の最低賃金を見ると、まだ1,000円台である。ヨーロッパ各国では3,000円から3,500円になっている。ただ日本でも、熊本に新しく

できた半導体の工場では、パートタイマーが3,500円とか4,000円という。とんでもない賃金になっている。さらに、これからいろいろな地域で地方選があり、そして国政選挙がやってくる。日本は変化の時に来ていると感じている。とはいえ、我々は印刷産業を担っているの、何はともあれ印刷産業を伸ばしていかなければならない。大事なのは業態を変革しつつ、印刷業をしっかりと守っていくことである」と強調。そして、そのためのキーワードをいくつか紹介した。

「まず、『価格の適正化』がある。サプライチェーンの中で我々は生かされているが、お得意先である企業に理解してもらい、適正な価格で商売をする。そして、我々も無用な価格競争ではなく、全印工連が掲げる『価値協創』というテーマに沿って、価値のある製品、価格の通じる製品を作っていく。」

次にあるのが『人材育成』である。これは我々経営者だけではなく、社員の教育などもしっかり行なうことが必須の課題となっている。

『紙の価値』も大事なキーワードである。この問題に関しては、日本洋紙板紙卸商業組合（日紙商）や紙の組合の皆さんとの懇談会などを開催し、紙の価値を啓発する活動を展開している。これは『ワクワクぷりんと博覧会』の事業にも関連してくると思う。一般の皆さんにも紙の持つすばらしさに関した情報を届け、そして紙を大いに使ってもらおう。話が脱線するが、スウェーデンでは教科書がデジタルから紙の教科書に戻ってきたと聞く。デジタルか紙かの議論は、大学でいろいろ調査・分析が行なわれているが、タブレットであると記憶が7割ぐらいしか残らないということである。このような実情をしっかりと見直していきたいと思っている。

そして次に出てきたのが、聞きなれない言葉『ローカルゼブラ』である。昨年、大阪で開催された全印工連フォーラムの席で私も初めて聞いた。ローカルゼブラとは、地域が抱える問題を解決するための事業活動を行なう企業ということで、我々がローカルゼブラ企業となり、地方の核になって活動するという発想である。

最後は『AIの実装とDX推進』である。全印工連は、DX-PLATというソフトを開発した。これをさらに進化させる。AIの出現で、本当にゲームチェンジが起きるのではないかとということである。これらのキーワードをしっかりと勉強し皆さんにお伝えしていく。今後とも組合の活動を見守っていただきたい」と締めくくった。

続いて、令和7年度事業計画について、担当副理事長、各委員長から概要説明が行なわれた。事業と発表者は次の通り。

三役直轄事業の組合創立70周年記念事業を酒井理事長、ゴルフコンペを箕浦靖夫副理事長、官公需対策を河原善高専務理事、組織・共済委員会事業を田中賢二副理事長と北川毅委員長、労務・新人教育委員会事業を箕浦副理事長と山本芳弘委員長、CSR・ブランディング委員会事業を竹倉幹雄副理事長と鈴木裕一委員長、教育委員会事業を加藤義章副理事長と松本高武委員長、経営革新委員会事業を富田章裕委員長が行なった。（事業内容は別項参照）

来賓の紹介が行なわれた後、来賓を代表し中部経済産業局産業部柳原和夫部長と愛知県経済産業局古澤秀雄技監が祝辞



来賓祝辞を述べる柳原中部
経済産業局産業部部長



来賓祝辞を述べる古澤愛知県
経済産業局技監

を述べた。

■ 頑張る企業を応援

中部経済産業局産業部柳原和夫部長の挨拶

「日本経済は長く続いたデフレ基調の経済を脱却し、賃上げと投資が牽引する成長型の経済を実現する正念場にあつたが、そのような大切な時期に関税措置という冷や水を浴びせられたと感じている。特に地域の中堅・中小企業においては賃上げや新たな投資のための利益確保をする必要のある中、材料価格や労務費の高騰、さらには少子高齢化を背景とした構造的な雇用問題があり、引き続き厳しい経営状況にあると思っている。それに加え、米国の関税措置という問題が大きく立ちはだかるなど、皆様の企業を取り巻く事業環境や課題はますます複雑化しており、先の見通せない時代もあいまって、経営者にとっては舵取りの難しい状況が続いている。

こうした中、経済産業省としては関税措置の影響から我が国の産業と雇用を守り抜くため、影響を分析するとともに必要な対策を速やかに実行するため、関税対策本部を立ち上げている。私ども中部経済産業局は、米国自動車関税措置に伴う特別相談窓口を管内に122箇所を設置しているが、これらの相談窓口を始め、自治体、業界団体、経済団体、議員といったところと地域の企業の皆様のお困り事に計継に対応している。

中部経済産業局としても企業の稼ぐ力を高めるためモノづくり補助金や省力化補助金、新事業促進補助金、成長加速補助金といった各補助金や税制などの支援策を通じて、成長志向のある企業の皆様における新事業展開とか、生産性向上などを支援していく。加えて、旧態依然とした取り引き慣行を



鳥原愛印協理理事長の乾杯の音頭で懇親宴がスタート

是正して、価格転嫁が適切に行なわれるように引き続き注力していく」。

愛知県経済産業局古澤秀雄技監の挨拶

「愛知県印刷工業組合は、スキルアップを目的とした技能検定の実施を始め、機関誌『あいちの印刷』の発行や印刷技術に関するセミナーの開催など、業界の発展のため多くの事業に積極的に取り組んでいる。また、若手デザイナー育成のために昨年まで15回に渡りポスターグランプリを開催し、印刷業界の将来を見据えた事業にも取り組んでこられた。さらに昨年の5月には、外部フリーライターと組合員企業とのコラボレー

ション事業『ワクワクぷりんと博覧会』を開催、受注型産業から脱皮し、印刷業界の新たな価値創造に取り組まれている。

愛知県としても新商品の開発、あるいは販路拡大、また、経営革新計画と地域の発展に頑張っている皆様への支援を行なっていくので、引き続き理解と協力をお願いする」。

箕浦副理事長の閉会の辞で総会は終了した。

引き続き行なわれた懇親会では、酒井理事長の主催者挨拶に続き、鳥原久資愛知県印刷協同組合理事長による乾杯の発声で懇親の宴が始まり、参加者は懇談に華を咲かせ情報交換と親睦の輪を広げた。宴たけなわの中、田中副理事長の中締めで終了した。

愛知県印刷工業組合・令和7年度事業計画

創立70周年記念テーマ

「RESILIENCE (レジリエンス) ～共に歩み、未来を拓く～」

■基本方針

世界の不確実性が増す中、産業の持続的な成長に向けた取り組みが一層重要となる昨今、数年間にわたるDXなどの成長分野への積極的な国内投資が芽吹き、30年ぶりとなる水準の賃上げ、100兆円を超える設備投資、史上最高水準の株価など明るい兆しが現れ始めました。

一方で、足元の物価高を背景に、消費は力強さを欠き、全国的に賃上げは進むものの、地域や業態によって、上昇幅にばらつきがあります。こうした状況下においても、長きにわたるコストカット経済から、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への転換を確実なものとするため、物価高に負けない持続的な賃上げを実現し、これをさらなる消費と投資へ繋げていくことが必要です。

令和7年度は、全国の印刷工業組合が創立70周年を迎えます。私たち愛知県印刷工業組合も、これを機に継続事業の見直し、新しい取り組みを推進し困難や危機を乗り越えて回復する力、精神的な回復力、しなやかさ、弾力、復元力などを意味するResilience(レジリエンス)をテーマに、副題として「共に歩み、未来を拓く」とし、様々な課題にチャレンジして参ります。

印刷産業は産業社会的に非常に重要な産業です。そのためには自社の中で新しいことにチャレンジする技術やイノベーションを興し、社会実装されていくような事業を目指し、成長を志向しているかどうかということが問われます。成長自体は売上や企業価値、利益、従業員など、何らかの指標を大きくしていこうという意図があることが重要です。更に中小企業が世代交代を機に何か新しいことを始めたりすることもスタートアップといえます。全国青年印刷人協議会では、カタカナでアトツギと書いて、新しいことにチャレンジする若者世代経営者を「アトツギベンチャー」と呼んでいます。また、中小企業庁では「アトツギ甲子園」を開催して後継者による新

たな挑戦を後押ししています。

「成功するから幸せになるのではなく、幸せであるからこそ成功する」持続可能な社会を実現するためには、個々の人々が幸せであることが必要であり、誰かに勝つことを目的とする社会ではなく、他者の考えを受け入れ、自分の意思を表明できる社会が重要であると考えます。「ことをつくるよこび」「ひとにとどくよこび」「ともにのびるよこび」皆様とともに積極的に協働して、「価値協創」を拓き未来をつくりましょう。

今秋もフリーライターコラボ事業、第2回「ワクワクぷりんと博覧会」を開催します。フリーライターとは、「すべての人々がより良い未来を便利なものにするため、行動し具現化できる人」と考えます。

日本のGDP600兆円に対するインバウンド消費は現在の8兆円から30兆円を超える可能性があるとして試算されています。このマーケットにも注力し、日本の伝統・文化・歴史を踏まえて、「Happy Industry ～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」のスローガンのもと、祖業からのDNAを開花させましょう。

■事業

■三役直轄（酒井良輔理事長／箕浦靖夫副理事長／河原善高専務理事）

三役直轄事業として、下記の各事業についてより一層の充実を図ります。

①組合創立70周年記念事業の実施／愛知県印刷工業組合は本年度、創立70周年を迎えます。「Resilience ～共に歩み、未来を拓く～」をテーマに、組合員全員の力を結集して価値協創で業界の未来を拓くメッセージを発信します。

●日時：令和8年1月14日（水）●内容：記念講演会、祝賀会

●会場：名古屋東急ホテル

②関連団体、関連業者との情報交換及び交流／ゴルフコン

事業説明を行なう担当副理事長 ※経営革新委員会担当の渡辺達也副理事長は欠席のため、代わって富田章裕委員長が行なった



田中賢二副理事長
(組織・共済委員会)



箕浦靖夫副理事長
(労務・新人教育委員会)



竹倉幹雄副理事長
(CSR・ブランディング委員会)



加藤義章副理事長
(教育委員会)



富田章裕委員長
(経営革新委員会)

への実施。

●日時:令和7年9月10日(水)

③官公需対策/愛知県会計局への要望の結果、入札においてMUD教育検定やグリーンプリンティング認定、CSR認定など資格を取得している事業者により優先発注できることが愛知県会計局から示されました。また、これまで、知的財産権の保護やダンピング防止などの問題で一定の成果を得ることができました。今後も新たな課題や問題点等を検討し、必要に応じて愛知県へ要望してまいります。

④名古屋而立会への支援・協力/組合青年部の活動は今年も例年通り名古屋而立会に委託するとともに、情報交換を密にしながら支援を図ってまいります。こうした交流を通して、将来の印刷業界を担う若手印刷人の育成を図ります。

■組織・共済委員会(田中賢二副理事長・北川毅委員長)

組織・共済委員会では、組織事業として各支部との強固な連携により、「経営の安定」に役立つ情報の収集、提供を行なうとともに、他団体含め横と縦の両面から組合員企業との繋がりをもち積極的に交流を図るべく各支部・委員会事業の推進を支援します。共済事業としましては、各種共済制度への加入促進を行ない、組合員企業・組合事業の下支えをしてまいります。

(A)組織事業(広報・関連情報の収集・提供による組合員加入促進)

組織事業では、組合数、組合員が減少する中、特定技能制度、アドビの「全印工連特別ライセンスプログラム」など組合への加入メリット等も伝え組合数拡大に向けて活動していきます。

組合員様におかれましては、組合員企業が自社の強みを発揮し、組合員企業の「1社当たりの売り上げ拡大、適正な収益確保、従業員一人当たりの出荷額の指標向上」などに貢献できるよう、企業経営に必要な情報収集を行ないます。

また、本年度強化対策の一環である「事業承継支援センター」の周知・活用も行っています。BCP対策として、クラウドバックアップサービスや安否確認システム等、組合員企業の組織強化につながる制度の普及増進にも努めます。

更には、Adobe CCの「全印工連特別ライセンスプログラム」についても、別記の各共済保険と併せて当委員会において加入促進に取り組んでまいります。

- ①支部事業の積極的支援と広域化する各支部との連携
- ②全印工連「事業承継支援センター」の周知・活用

③Adobe「全印工連特別ライセンスプログラム」の周知及び加入促進

④全印工連「クラウドバックアップサービス」の普及増強(BCP対策)

⑤全印工連の安否確認システム「Safetylink24」の普及増強(BCP対策)

⑥「あいちの印刷」の継続発行

⑦新年互礼会の開催(組合創立70周年記念祝賀会併催)

⑧各委員会の事業推進に関する、組合員へのより積極的な広報活動の推進

⑨全印工連、その他関係機関や諸団体からの関係情報の収集と提供

⑩愛知県印刷産業団体連絡会及び関係諸団体との緊密な連携のもと新年互礼会の実施

(B)共済事業(経営の安心・安定の提供)

共済事業では、広域化する各支部と協力して、組合員企業に少しでもお役に立てる各種共済制度のメリットを周知して加入促進を図ってまいります。また、昨年度に引き続き、今期も重点工組の指定を受けておりますので、加入率を上げるよう積極的に取り組んでまいります。

更には、現存の生産物賠償責任保険「プリントリバースα」と併せて、在庫品や納品前の製品の予期せぬ事故をカバーする物流包括保険「サポートワン」など、組合員企業の経営サポートとなる商品の周知も進めてまいります。

以上はいずれも「組合」というスケールメリットを活かした制度です。組合の財源に大きく貢献している事業でもございますので、組合員の皆様には是非ご活用いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

- ①生命共済制度「ライフピア」(全日本印刷工業組合連合会共済センター)
- ②医療・がん・介護共済制度(全日本印刷工業組合連合会)
- ③総合設備共済制度(全日本印刷工業組合連合会)
- ④新医療保障プラン(メットライフ生命保険)
- ⑤愛知火災共済(愛知火災共済協同組合)
- ⑥自動車事故見舞金共済(愛知県商工共済協同組合)
- ⑦経営者医療共済(愛知県中小企業共済協同組合)
- ⑧傷害共済(愛知県中小企業共済協同組合)
- ⑨生命傷害共済(愛知県中小企業共済協同組合)
- ⑩生産物賠償責任保険「プリントリバースα」(㈲保険ネットワークセンター)

■愛印協組・通常総会

メディアージュ愛知を情報発信基地に

愛印工組の活動を側面から支援

愛知県印刷協同組合（鳥原久資理事長、愛印協組）の令和7年度通常総会が5月21日、名古屋・伏見の名古屋観光ホテルにおいて、愛知県印刷工業組合通常総会に先立ち開催された。

総会の冒頭挨拶に立った鳥原理事長は、「5月もまだ20日過ぎというにもかかわらず大変な暑さで、今日も午前中外出したが、とてもネクタイをされている状況ではなかった。温暖化が喫緊の課題になっていることを感じる。協同組合は工業組合の運営を支える立場であるが、例年通り慎重審議をお願いする」と述べた。

総会は、議長に渡辺明秀氏（菱源㈱）を選任し議案審議に入り、第1号議案「令和6年度事業報告及び決算関連書類承認の件」、第2号議案「令和7年度事業計画案及び収支予算案承認の件」が審議され、いずれも承認された。



愛印協組の総会と挨拶する鳥原理事長

事業計画では、基本方針「愛知県印刷協同組合は、メディアージュ愛知が印刷業界の拠点として機能するよう維持管理に努めるとともに、愛知県内の印刷業者の団体である愛知県印刷工業組合の活動を側面から支援し、愛知県印刷産業団体連絡会の一員として、印刷産業の発展と向上のために尽くしていく」とし、「①メディアージュ愛知の維持管理、②メディアージュ愛知を印刷業界の情報発信基地にする、③愛知県印刷工業組合の事業に協力する」の3つの活動方針が決められた。

①新・物流包括保険「サポートワン」（㈲保険ネットワークセンター）

■労務・新人教育委員会（箕浦靖夫副理事長、山本芳弘委員長）

例年通り、4月2日より新入社員研修を実施いたします。今年度も、社会人としての基本的なマナーや印刷業界に関する基礎知識を学ぶ講座に加え、「インターネット広告」や「動画制作」といった印刷業界が注力している新たな分野についての講座も取り入れます。また、昨年に引き続き、組合員各位のご協力を得て、「シール印刷」「シルク印刷」「特殊加工」などの専門的な技術を学べる講座も行います。全24日間、合計165時間にわたる22講座を開催し、参加者の皆様に多様な学びの場を提供いたします。

さらに、組合員の皆様に向けた教育プログラムとして、「断裁機の特別教育」なども継続して実施してまいります。これにより、業界全体の技術力向上を図るとともに、安全面にも十分配慮した研修を行ないます。以下の通り、今後も組合員に有益な情報を引き続き発信してまいりますので、ご確認いただければ幸いです。

①印刷会社の新入社員研修会：4月2日～5月20日 計24日間（22講座・165時間）

②「断裁機取り扱い者特別教育（学科・実技）」の実施

●学科講習（5月24日：㈱光文堂会議室）●実技講習（6月7日：㈱アクアス小牧物流センター・8月30日：木村紙商事㈱）

③職長教育（実施日調整中／メディアージュ愛知）

④「働き方改革」の一貫とした法改正に関する情報発信

⑤「永年勤続優良従業員表彰」の実施

⑥「鉛・有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断」の実施の周

知（前期・後期）

⑦次年度新入社員研修会に向けての人材開発支援助成金の説明会

⑧労働関係法規に関する情報発信

■CSR・ブランディング委員会（竹倉幹雄副理事長、鈴木裕一委員長）

CSR・ブランディング委員会は、組合員企業の未来創造と社会にむけた印刷産業のブランディング浸透を目的とした、外部クリエイターと組合員企業とのコラボレーション事業「クリエイターコラボ事業（ワクワクぷりんと博覧会）」を引き続き推進してまいります。

前年度の第1回の実施によって、参加企業、クリエイター、委員会とそれぞれの立場で、さまざまな経験と糧と反省を得ました。それらを次回開催にしっかりと反映させ、より進化した事業のカタチを構築してまいります。事業の成果が参加者だけの享受にとどまらず組合全体に波及し、さらには印刷産業の発展に寄与するよう、引き続き創意工夫を重ねてまいります。

このクリエイターコラボ事業を重点施策とし継続することで、CSR・ブランディング委員会がこれまで課題としてきた求職者や印刷産業に興味ある若者とのタッチポイントにもなりえると期待するとともに、引き続き印刷産業のブランディング活動の在り方や方向性を検討してまいります。そして、全日本印刷工業組合連合会のCSR施策に連動した活動をしてまいります。

また、前年度の実施を延期した組合案内の改訂版の制作を行ないます。

①外部クリエイターとのコラボレーション事業の実施

●「ワクワクぷりんと博覧会」マルシェの開催 ●組合内向け事業報告会（セミナー）の開催 ●次年度以降の継続開催に向けた検証、検討

②愛知県主催「中小企業経営者と学生との交流会」参加

③「環境推進工場認定制度」更新講習会の開催

④「日本印刷個人情報保護体制認定制度（JPPS）」更新講習会の開催

⑤組合案内改訂版の制作

⑥CSR・ブランディング委員会の活動の在り方、方向性の再定義

■教育委員会（加藤義章副理事長、松本高武委員長）

組合員企業の皆様にとって貴重な財産である社員の皆様の育成、教育、技能向上のため、キャリアアップに繋がる資格試験、セミナーの開催、及び、全組合員にとって大きなメリットを得られる情報の配信、周知に尽力致します。そのために次の事業を行ないます。

①印刷技能検定「オフセット印刷作業」（国家資格）実技試験・採点の実施及び学科試験対策セミナーの開催

②プリプレス技能検定「DTP作業」（国家資格）実技試験・採点の実施及び学科試験対策セミナーの開催

③「印刷営業講座」（計4日間・21時間）の開催

④「印刷営業技能審査認定試験」の実施

⑤印刷技術、従業員教育に関する情報の発信

⑥その他（セミナー等の開催）

■経営革新委員会（富田章裕委員長）

この一年を振り返ってみると改めて私たちの生活様式、そして私たちを取り巻く経営環境が大きく変わったことを実感いたします。いまだに材料等の価格高騰が止まらず、人材不足などによる省力化、省人化など多くの課題も山積しております。そんな中において、いかに会社を経営し、競争力を高めていけるのか。例えば、DXを活用したデジタル化や、業務等へのAIの活用など、あらゆる角度から問題解決に向け取り組んでいく必要があると考えております。

今年度も経営革新委員会ではこれからの時代に必要な知識や情報を提供し、皆さまのお役に立つ企画を考えてまいります。

全印工連 第50期ワンスター認定募集中 募集期間 7月31日まで

全印工連 CSR 認定「第50期ワンスター認定」の募集期限は、7月31日が締め切りとなっている。認定登録は9月の予定。

●申請書類：全印工連 CSR 認定申込書に必要事項を記入し、全印工連に FAX で申し込む。応募申込書の到着後、申請書類が送られてくるので、次の①～⑤の申請書類を提出する。

① CSR 取り組み項目チェックリスト、②法令遵守宣誓書（所定様式）、③納税証明書（税務署が交付した証明書）、④過去3年間の行政処分がないことの宣誓書（所定様式）、⑤添付書類（CSR 取り組みチェックリストで選択した項目を証明する書類）。

●認定の概要：申請書類提出後は、審査機関の CSR & サステナビリティセンター合同会社において書類審査を行ない、外部の有識者で構成する全印工連 CSR 認定委員会において審査結果をもとに認定します。認定取得後は2年毎に更新審査を行ない上位認定であるツースター認定を取得することもできる。

●認定企業：全印工連 CSR 認定登録企業は、全印工連 CSR 認定マークを名刺、会社案内、ホームページなどに表示して、積極的に CSR に取り組んでいる企業であることを社会にアピールができる。

●詳しくは、ホームページ 全印工連 CSR で検索。

※現在の CSR 認定企業は計 146 社（スリースター認定 15 社、ツースター認定 12 社、ワンスター認定 119 社）になる。

※ CSR ワンスター認定は、組合員以外の企業でも取得ができる。

①経営革新セミナーの開催

②企業見学会の実施

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



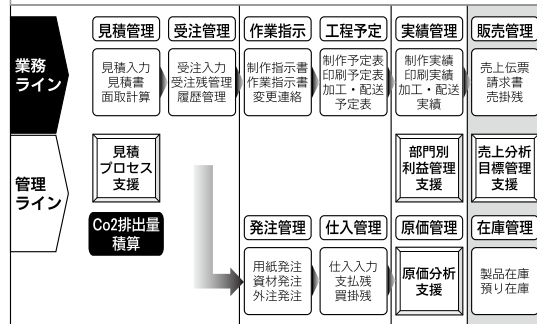
P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工／配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』 『今こそ！！情報の見える化（MIS）』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました！



株式会社 モトヤ

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2-8
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5

☎ (06) 6358-9131代
☎ (03) 3523-8711代

■愛知労働局からのお知らせ

熱中症を防ごう

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

2025年5月1日～9月30日／7月は重点取り組み期間

愛知労働局では、今年も「熱中症を防ごう!」をタイトルにした熱中症対策のパンフレットを作成し、周知と啓蒙に努めている。特に今年は、6月の入梅の時期に異常なまでの暑さが続き、熱中症による緊急搬送も多く、死亡に至る事案も増えている。「令和6年度の愛知県内の職場における熱中症り患者は、前年より28人多い88人(休業4日以上)と、3年連続での増加となり、都道府県別では全国3番目に多い発生件数となっている」との報告がある。先月号でもお知らせしたように「労働安全衛生規則」が改正され、事業主に熱中症対策が義務化されており、待ったなしの徹底した対策が望まれている。「熱中症を防ごう!」から、対策への対応をピックアップしてみた。

■愛知県内における熱中症発生状況

愛知労働局では、「毎年、梅雨明けの時期になると日差しが急に強くなり、急激な環境温度の変化に身体が対応しきれずに、全国的に熱中症が発生している。令和6年、愛知県内で発生した就業中の熱中症は、88人(休業4日以上)となった。熱中症の発生は、WBGT(暑さ指数)と明確に関連しており、予防についても作業者の暑熱環境ばく露管理を行なうことで、一定の科学的アプローチが可能。関係者が熱中症に対する十分な認識を持ち、熱中症の根絶を目指しましょう」と呼び掛けている。

愛知県内における熱中症発生状況(休業4日以上の死傷災害)の統計が示されている。それによると、愛知県では毎年数十名が休業4日以上となる熱中症を発症している。ただ死亡者数を見てみると、令和3年から6年まで死亡例が発生していない。これについて、「早期の医療機関受診が浸透し、軽症のうちに治療できるケースが増加した」などが考えられるとしている。さらに、熱中症の月別発生状況から、「毎年5月頃というかなり早い時期から始まり、最多となる月は7月・8月になるので早期に予防対策に取り組むことが重要」としている。過去10年分の統計では7月が199人、8月が254人の発生があったとしている。

ちなみに、熱中症の時間帯を見てみると、午後3時～4時台



をピークに、すべての時間帯で発生している。発生場所も野外に限らず屋内の割合もかなり高くなっている。過去10年分の統計では3時台74人、4時台63人、1時台61人、2時台58人となっている。また、作業場所別発生状況は、過去10年分の統計では、屋外作業場306人(57.2%)、屋内作業場229人(42.8%)となっている。

■熱中症

「熱中症」とは、高温体質な環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こる。従来、症状によって、熱失神、熱けいれん、熱疲労、熱射病などに分類してきましたが、現在では、一連の症状を総称して「熱中症」と呼ぶようになった。

【熱中症の症状と重症度】

- 【重症度】Ⅰ度、[症状] 顔面蒼白・脱水・吐き気・めまい(立ちくらみ)・急性の筋肉痛(こむら返り)、[手当] 119番▶ 応急手当、冷所で安静・体を冷やす・水分と塩分の補給・見守り
- 【重症度】Ⅱ度、[症状] 口の渇き・めまい・頭痛・イライラする・倦怠感、[手当] 医療機関での診察が必要
- 【重症度】Ⅲ度、[症状] 意識がない・けいれん発作・身体が熱い、[手当] 入院治療が必要

meikami
メイカミ

〒461-0018名古屋市中区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418

創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。

デザイン～印刷まで
トータルサポート

お気軽にお問合せ下さい。

カラー印刷全般

株式会社 プロスペック

〒453-0855
名古屋市中村区鳥森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117(代表)
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

熱中症を防ごう！

■事業者が取り組むべき事項

①WBGT値の把握と評価＝作業現場にWBGT値（暑さ指数）指数計を備え、現場の状況を把握する。WBGT値は作業場所によって大きく変動することがあるので場所ごとに把握する。

②WBGT値の低減など＝簡易な屋根、通風、冷房装置、ミストシャワーなどの設備を設置し、WBGT値を低減するよう検討する。

③作業時間の短縮・休憩など＝WBGT基準値を大幅に超える場合には、原則、作業を行なわないようにする。

※暑熱順化した作業員においてWBGT値から1℃程度超過しているときは、1時間当たり15分以上の休憩、2℃程度超過しているときは30分以上の休憩、3℃程度超過しているときは45分以上の休憩、それ以上超過しているときは作業中止が望ましい。暑熱順化していない作業員においては、上記より長い時間の休憩などが望ましい。

④休憩場所の整備など＝作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所または日陰などの涼しい場所を確保する。

⑤暑熱順化＝作業員の暑熱順化（熱に慣れ、環境に適応していること）の有無は、熱中症の発生リスクに大きく影響するので、計画的な暑熱順化プログラムを組む。

⑥水分及び塩分接種のための整備など＝休憩場所などに、水分・塩分補給のための物品・設備を備える。作業開始前から終了後まで、定期的に水分と塩分の補給ができるように配慮。

⑦服装など＝透湿性・通気性の良い服装を準備する。送風機能のある作業服などの着用も検討する。

⑧健康診断結果の基づく対応など＝疾病（糖尿病・高血圧症・心疾患・腎不全・精神や神経関係の疾患・広範囲の皮膚疾患・感冒・下痢など）がある場合、熱中症の発生に影響する恐れがあるので医師などの意見を踏まえて配慮する。

⑨労働衛生教育＝熱中症対策のためには、管理者と作業員がそれぞれに知識を持つことが重要です。熱中症予防管理者向け・作業員向け教育プログラムは、「熱中症を防ごう！」パンフレット参照。

※事業主の熱中症対策の義務化に伴い、熱中症予防管理者を選任することも義務化された。選任された管理者は、熱中症予防対策の責任者として、現場の状況に併せた適切な判断と実施が求められる。ただ、講習の受講は義務ではないが、予防対策のために受講が奨められている。

⑩作業場の管理＝熱中症予防管理者の業務には、●WBGT値の低減対策の実施状況を確認●各労働者の暑熱順化の状況を確認●作業開始前に労働者の体調を確認●WBGT値の測定結果を確認し、結果に応じて作業の中止、作業時間の短縮などの判断をする●職場巡視で作業員の健康状態を確認●異常があった場合、病院への搬送や救急隊要請を行なう。

【作業員が取り組むべき事項】

①日々の健康管理＝夜更かしをしない、朝食をとる、飲酒は適量に。

②適切な休憩＝仕事に集中すると、つい無理しがちであるが、たとえ作業途中であっても、休憩時間には作業を中断し確実に休憩をとる。

③水分及び塩分の摂取＝熱中症の予防のためには、予め水分・塩分を摂っておくことが重要。

④異常を感じたらすぐに申し出る＝兆候を感じたらまずは管理者に申し出る。自分だけの判断は避ける。

■WBGT値(暑さ指数)

WBGT値（湿球黒球温度：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的に1954年にアメリカで提案された指標で、「暑さ指数」とも呼ばれている。単位は気温と同じ摂氏度（℃）であるが、その値は気温とは異なる。WBGT値は、①温度、②日射・輻射など周辺の暑熱環境、③気温の3つを取り入れ、次の式で算出される。

●屋内及び屋外で太陽照射のない場合：WBGT値＝0.7×自然湿球温度＋0.3×黒球温度

●屋外で太陽照射のある場合：WBGT値＝0.7×自然湿球温度＋0.2×黒球温度＋0.1×乾球温度

「WBGT値（暑さ指数）」が基準値を超え、または、超える恐れがある場合には「身体作業強度などに応じたWBGT基準

値」を参考に、対策の徹底が必要」としている。

※WBGT指数計は必ず黒球付きのJIS規格適合品を選ぶ（写真）。WBGT基準値については、「熱中症を防ごう！」パンフレットを参照。

■熱中症を防ごう！

「熱中症を防ごう！」パンフレットでは、「事業者が取り組む事項」と「作業員が取り組む事項」を詳報している。別項に紹介した。

愛知労働局では、「熱中症予防に向けた積極的な周知と、特に、予防対策におけるWBGT値（暑さ指数）の把握や、現場作業の把握、これらに基づく評価・管理、及び、暑熱ばく露時間の短縮などの科学的アプローチの推進に加え、熱中症が疑われる症状を把握した場合には、重篤化させないための対策の実施についても促進を図っていただきたい」と、取り組みへの対策を要望している。

※「熱中症を防ごう！」の詳細は、[愛知労働局](#) で検索。



黒球の付いたWBGT 指数計

夏休みに高校生などを雇用する場合

アルバイトの労働条件

- 「年少者」にも労働基準法が適用●必ず労働条件を明示●最低賃金を下回らない●労働災害補償

夏休みの到来で、大学生のみならず高校生など、満18歳未満の「年少者」をアルバイトとして雇う機会が増えてくる。「満18歳未満の年少者をアルバイトなどで雇用するときは、労働基準法を守らなくてはならない」との注意がある。労働基準法では、年少者の健康及び福祉の確保などの観点から、その就業に様々な制限を設けて保護を図っている。その具体的な内容を表に示した。表の①～⑫の番号は本文中の各項目の番号に対応。

【労働条件の明示】①

使用者は労働契約の締結に際し、労働者に対して、賃金、労働時間、その他の労働条件を必ず明示しなければならない。特に、以下の事項は原則として書面の交付により明示する。

●労働契約の期間及び「期間の定めのある労働契約を更新する場合の基準」に関する事項●就業の場所及び従事すべき業務に関する事項●始業及び終業の時刻、所定労働時間を超える労働の有無、休憩時間、休日、休暇などに関する事項●賃金（退職手当を除く）の決定、計算及び支払いの方法、賃金の締切り及び支払いの時期、並びに昇給に関する事項●退職に関する事項（解雇の事由を含む）。

【賃金の支払い】②

賃金は、毎月1回以上一定の期日に通貨で全額を直接本人に支払う。ただし、本人の同意の上で指定する銀行などの口座に振り込むことができる。賃金の額は、都道府県ごとの最低賃金の額を下回ってはならない。

【労働時間、休憩時間、休日】③、④、⑤

原則として、1週間の労働時間は40時間、1日の労働時間は8時間を超えない。労働時間が6時間を超えときは途中45分以上の休憩時間を取る。休日は毎週1日を与える。

【未成年者の労働契約締結の保護】⑥

労働契約は本人が結ばなくてはならず、親や後見人が変わって結ぶことはできない。

【年齢証明書などの備付け】⑦

事業場には、年少者の年齢を証明する公的な書面を備えなくてはならない。

【労働時間・休日の制限】⑧

次の場合を除き、いわゆる変形労働時間制により労働をさせることはできない。また、時間外及び休日労働を行なわせることはできない。

※満15歳以上で満18歳に満たないもの（児童を除く年少者）が、(ア)1週40時間を超えない範囲で、1週間のうち1日の労働時間を4時間以内に短縮する場合において、他の日の労働時間を10時間まで延長する場合。(イ)1週48時間、1日8時間を超えない範囲内において、1か月又は1年単位の変形労働

労働基準法における年齢区分と保護規定の適用の有無

年齢区分	主な保護規定											
	① 労働条件の明示	② 賃金の支払	③ 労働時間	④ 休憩時間	⑤ 休日	⑥ 未成年者の労働契約締結の保護	⑦ 未成年者の賃金請求権（第59条）	⑧ 年齢証明書の備付け	⑨ 労働時間・休日の制限	⑩ 深夜業の制限	⑪ 危険有害業務の就業制限	⑫ 坑内労働の禁止
児童（満15歳に達した日以後最初の3月31日が終了するまでの者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年少者（満18歳に満たない者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未成年者（満20歳に達しない者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
満20歳以上の者	○	○	○	○	○							

時間制を適用する場合。

【深夜業の制限】⑩

原則として午後10時から翌日午前5時までの深夜時間帯に使用することはできない。

【危険有害業務の就業制限・坑内労働の禁止】⑪、⑫

危険又は有害な業務については、就業が規制または禁止されている。（略）

【原則使用禁止】⑫

原則として満15歳に達した日以後の最初の3月31日が終了するまでの児童（中学生以下の児童）を使用することはできない。満13歳以上の児童については非工業的業種に限り、●健康及び福祉に有害でないこと●労働が軽易であること●修学時間外に使用すること●所轄労働基準監督署長の許可を得ること、などにより使用することができる。

【雇入れ時の安全衛生教育】

雇入れの際には、仕事に必要な安全衛生教育を行なわなければならない。

【労働災害補償】

業務上の事由または通勤による災害については、アルバイトなどであっても労災保険による保険給付が行なわれることになっている。

【参考資料】

年少者雇用にあたって「労働条件通知書」のひな型（モデル様式）が示されている。下記HPから入手が可能。

確かめよう労働条件

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/>



盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

PICKUP NEWS

日印機工・プリデジ協

IGAS2027開催

2027年8月5日～9日、東京ビッグサイト



(一社)日本印刷産業機械工業会(日印機工、森澤彰彦会長)とプリプレス&デジタルプリンティング機材協議会(プリデジ協、山田周一郎会長)は、2027年8月5日から9日までの5日間、東京・有明の国際展示場「東京ビッグサイト」において、「IGAS2027(国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展)」を開催する。前回のIGAS2022から5年ぶりの開催になる。

IGAS2027では、印刷会社の顧客であるブランドオーナー視点に立ち、印刷及びクロスメディアにおけるテクノロジーとソリューションを提案する。また、主なイベントとしてスペシャルナビゲーターに著名人を迎え、様々なコンテンツをIGAS公式WEBサイトで配信する「IGAS LIVE TV +」、印刷会社及びブランドオーナー企業の方々をパネリストに有用な情報を提供する「PANEL DISCUSSION」、IGAS全体の専門的な情報を提供する「TOUR」などを実施する。

なお、出展申込に関する詳細とIGAS2027テーマ、イベントなどの詳細については、2025年10月に予定している「IGAS2027出展者募集開始記者会見」において正式に発表する。

【開催概要】

- 名称：IGAS2027(国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展)
- 主催：(一社)日本印刷産業機械工業会／プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会
- 開催期間：搬入／2027年7月31日(土)～8月4日(水)、展示会／2027年8月5日(木)～8月9日(月)、搬出／2027年8月10日(火)～8月11日(水)
- 開場時間：10時～17時(初日のみ11時～17時)
- 入場料：当日販売2,000円、事前登録の場合は無料
- 会場：東京ビッグサイト東展示棟(東京都江東区有明3-10-1)

高精細印刷とPUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

下請け法の改正で名称変更

下請事業者⇒中小受託事業者 親事業者⇒委託事業者

令和8年1月1日から施行

中小企業による適正な価格転嫁を促す「下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法の一部を改正する法律」(改正下請法)が成立した。改正は、発注者が受託事業者との価格協議を十分に行わず、一方的に支払代金を決める行為を新たに禁止。また、法律の適用対象となる企業を拡大するため、従来の資本金の規模に加え、従業員数を新たな基準として導入し、資本金を少額にしたり、受注者に増資を求めたりすることによる適用逃れを防ぐなど、規制が見直された。

また、下請けという用語についても発注者と受注者の上下関係を印象付けるとして、「下請事業者」を「中小受託事業者」に、「親事業者」を「委託事業者」に変更。法律の名称も「下請代金支払遅延等防止法」を「製造委託などに係る中小受託事業者に対する代金の支払いの遅延等の防止に関する法律」に、「下請中小企業振興法」を「受託中小企業振興法」に改める。この法律の施行期日は、令和8年1月1日(ただし、一部の規定は本法律の公布の日から施行)。

中小企業庁

パートナーシップ構築宣言

持続可能なビジネス関係を構築／登録は無料

中小企業庁では、政府が推進する「パートナーシップ構築宣言」に基づき、企業間での健全な取引関係を築くための取り組みを進めている。この宣言は、大企業と中小企業が相互に信頼し合い、長期的なパートナーシップを基盤とした持続可能なビジネス関係を構築することを目的としている。本宣言は今後の大企業との取引も含めた交渉手段となることから、まずは印刷会社が宣言し、顧客との連携・共存共栄を図ることが必要になる。そのためには、パートナーシップ構築宣言の登録を推奨している。登録費用は無料。

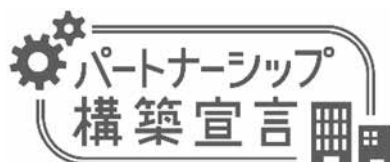
【パートナーシップ構築宣言】

宣言は、①サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列などを超えた新たな連携、②親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行(下請け中小企業振興法に基づく「進行基準」の遵守)になる。

【パートナーシップ構築宣言のメリット】

宣言企業のメリットについては、①国や県の補助金で加算・優遇措置を実施、②賃上げ促進税制適用の要件、③SDGsの達成、④企業の取り組みを広く周知、⑤入札参加資格審査で加算などがある。

※詳細は、<https://www.biz-partnersship.jp/>



■モトヤ

SUMMER FAIR 2025 IN NAGOYA

ウインクあいちで開催

㈱モトヤ名古屋支店では、毎年恒例のサマーフェア2025を7月30・31の両日、名古屋駅前のウインクあいちにおいて開催する。「セミナー」と「コラボレーション展示」がある。

【セミナー】

●日時：7月30日（水）10：30～11：30、テーマ：「新たなクールジャパン戦略！日本のアニメとともに海外へ進出、広がるグッズの世界」、講師：三輪直之シンクイノベーション㈱社長、高藤大議㈱ユニテックス社長。

●日時：7月30日（水）14：00～15：00、テーマ「環境印刷、その先に求められるものは何か？ ペーパーレス時代に印刷会社はいかなる挑戦を仕掛けるべきか？」、講師：大川哲郎㈱大川印刷社長。

●日時：7月31日（木）10：30～12：00、テーマ「価値を伝える重要性～伝わらないものは存在しない～」講師：田中みのるライズマーケティングオフィス㈱社長。

●日時：7月31日（木）14：00～15：00、テーマ「生成AI時代のプロセス革命

大規模言語モデル（LLM）活用による業務プロセス革新の最前線」、講師：三浦圭人（合）RealAlze 代表。

【出展企業】

㈱ウイズ、㈱ウチダテクノ、㈱エルネット、OYC ㈱、㈱グラフィックサポート、コニカミノルタジャパン㈱、コムネット㈱、ジクス㈱、㈱シーズ、㈱JITSUGYO、シンクイノベーション㈱、㈱ユニテックス、㈱SCREEN GP ジャパン、デュプロ販売㈱、東京ラミネックス㈱、ナビダスマシナリー㈱、nearby ㈱、㈱ビジネスイブレーション、富士フイルムグラフィックソリューションズ㈱、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン㈱、㈱ミマキエンジニアリング、㈱ミューテック、㈱山櫻、㈱ライジングコーポレーション、リコージャパン㈱、㈱モトヤ。

【会場】

ウインクあいち6階展示場：名古屋市
中村区名駅4-4-38 TEL052-571-6131

【主催】

㈱モトヤ名古屋支店：名古屋市中区黒門町128 TEL052-935-5315

■熱中症対策：企業へのアンケート

熱中症対策の義務化

「知っている」は企業の55.2%が認知

㈱帝国データバンクでは、「熱中症対策に関する企業の実態アンケート」を、全国1,568社を対象に行なった。調査から「熱中症対策の義務化」を認知している企業の割合は、55.2%あり、企業の半数が認知していることが分かった。

企業における熱中症対策の義務化を尋ねたところ、「詳しく知っている」と回答した企業は15.6%、「なんとなく知っている」は39.5%あり、合計すると「義務化を知っている」企業は55.2%になった。「聞いたことがある」とした企業は18.6%、「知らない」とした企業は26.3%だった。

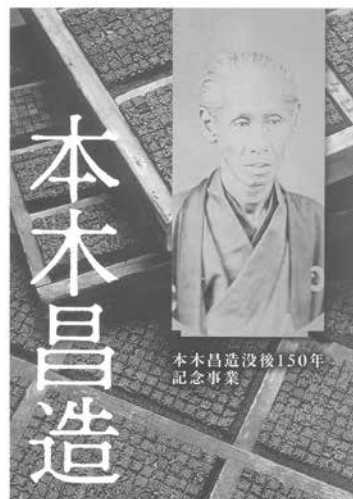
「認知している」企業の割合を業界別にみると、義務化の対象となることが多い「建設」は、79.3%と全体（55.2%）を20ポイント以上上回る結果となった。

また、「熱中症警戒アラート」という言葉について尋ねたところ、「詳しく知っている」企業は21.4%、「なんとなく知って

いる」は58.5%。合計すると「認知している」企業は、79.9%と約8割にのぼる。他方、「聞いたことはある」14.6%、「知らない」は5.5%だった。

また、「WBGT（暑さ指数）」という言葉を知っている企業は54.8%となった一方で、「聞いたことはある」24.2%、「知らない」は20.9%で、熱中症警戒アラートの発表基準にもなっている「WBGT」への認知度が低い結果となった。

企業の9割超がクールビズやサーキュレーターの活用など対策を実施している。



■生誕200年、没後150年

「本木昌造顕彰会記念事業」の募金

活版印刷文化の継承と啓蒙

長崎県印刷工業組合・本木昌造顕彰会（岩永寛毅会長）では、活版印刷の祖といわれている本木昌造生誕200年（令和6年7月5日）、没後150年（令和7年9月3日）を迎え、記念事業を計画している。また、本木昌造の活躍を広く世間に広報することで、永くその功績をたたえ、活版印刷文化の継承を図る啓蒙運動を行なう。その活動に対する支援・協力を募っている。

【募金概要】

●目標金額：500万円。

●使途：本木種字の長崎市文化財指定／本木活字の鋳造／資料展示・ワークショップの開催／記念講演会の開催／本木活字のデジタル化／その他。

●募集口数：個人1口1万円（1口以上）、法人1口3万円（1口以上）。

※募金いただいた方の芳名（会社名）をイベントの際に掲示（承諾を得た方のみ）。

●問い合わせ先：本木昌造顕彰会（〒850-0862 長崎県長崎市出島町10-13 TEL095-824-2508 FAX095-824-2509

あいちの印刷

No.644

令和7年7月10日発行

発行人 酒井良輔
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL 〈052〉962-5771
FAX 〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing



株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070

FAX 052-528-1071

E-mail: ad-wise@ad-wise.biz <https://www.ad-wise.biz/>



Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントの
サブスクリプションサービス



モリサワ

morisawafonts.com

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511

紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507

皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518

地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 アクアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <https://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

- 封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！
- 軽オフの更新時にご検討ください。



キングコーポレーション

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング 封筒



SLIM&STRONG その先へ



KOBUNDO

全自動カード製造機

KBD AUTO CardMaker

全自動カード機は、
カードやトランプカードの
製造に特化した高効率の
設備！



- カード紙やトランプ用紙を縦方向および横方向に自動分割します。
- カードサイズに応じて切断サイズを調整可能で、さまざまなサイズのカードやトランプに対応します。
- 切断後のカードを設定されたデザイン順序に従って自動的に積み重ねます。印刷前後の順序を正確に保ち、ずれを防ぎます。
- カードのボンス抜き、縁取りに適合。
- 給紙からボンス抜き迄、全プロセスが自動化されており、作業効率を大幅に向上させ、人件費を削減します。

NEW

昇華型熱転写機

KBD テキスタイル

1200S/1600/1600S

アパレル向けから、
タオル・のぼり・旗等の
ノベルティまで、
幅広く高品質な仕上がりを
実現！！

- 連続色安定性
- やさしい操作性

- 【特長】
- 非接触センサーにより転写紙接触面を直接温度管理
 - アンダーペーパー、生地、転写紙、各軸を微調整、加工不良を削減します
 - トルク調節付き巻き取り装置

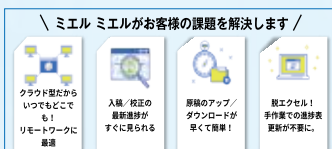


ポリエステル素材への
グラフィック転写なら、
KBDテキスタイルに
お任せ！

クラウド型入稿・進捗管理システム

KBD ミエル ミエル

入稿業務と進捗を見える化し、
クリエイティブ管理を効率化します。
タスク管理ツールは世の中に多数発売されていますが、
印刷データ制作に特化した管理ツールはなかなかありません。
KBD ミエル ミエルは現場とお客様のやり取りを見える化し、進捗
状況の共有を可能にするクラウド型入稿・進捗管理システムです。
KBD ミエル ミエルはクリエイティブワークで使いやすく、見てすぐ
わかるツールとなっています。



NEW

スマホに表示されたPDF上のQRコードがタップできる

NEW

KBD リンクリンク II



印刷物の QR コードは
スマホで読み込めるのに、
スマホで表示した
QR コードのリンク先には
飛べない！

はい、それでは
タップできるように
しました！



印刷機材の総合商社

株式会社 光文堂

http://www.kobundo.co.jp

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所／北海道
青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・徳島・山口・大分・熊本・沖縄